



～清くけだかき白鳥の～

山喜株式会社 社歌

2020年春のNHK連続テレビ小説『エール』は、作曲家・古関裕而氏をモデルに古関ご夫妻の生涯を描いたドラマです。遡ること1961年(昭和36年)、このドラマの主人公である古関裕而氏(作曲)と著名な詩人である西條八十氏(作詞)によって、当社の前身である株式会社山喜商店の社歌が作られました。山喜のイメージを白鳥(スワン)に託し、力強くも美しい社歌として、今も脈々と歌い続けられています。



古関裕而氏直筆と推定される譜面



山喜株式会社社歌 ～清くけだかき白鳥の～

作詞 西條八十
作曲 古関裕而

- 一、青き湖 静かにすべる
清く気高き白鳥の
その装いを 我等の理想
磨く技術に 打ち込む情熱
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を
- 二、笑顔見交わし 腕をくみて
仰ぐ山喜の 旗じるし
見よ堂々と 市場を圧し
あふれ伸びゆく 我らの成果を
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を
- 三、意気はたくまし 我等は若し
のびゆく社業は 果てしなし
いざさきがけん 世界に築け
輸出日本の ゆるがぬ王座を
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を

代表曲紹介

作曲：古関 裕而 氏 (こせきゆうじ)

- 「紺碧の空～早稲田大学応援歌～」(作詞：住治男、1931年)
- 「大阪タイガースの歌(六甲産)」(作詞：佐藤惣之助、歌：中野忠晴、1936年)
- 「栄冠は君に輝く」(作詞：加賀大介、歌：伊藤久男、1948年)
- 「長崎の鐘」(作詞：サトウハチロー、歌：藤山一郎、1949年)
- 「君の名は」(作詞：菊田一夫、歌：織井茂子、1953年)
- 「オリンピック・マーチ」(演奏：陸上自衛隊中央音楽隊、1964年)

作詞：西條八十 氏 (さいじょう やそ)

- 「東京音頭」(作曲：中山晋平、歌唱：小唄勝太郎・三島一声、1933年)
- 「東京ブルース」(作曲：服部良一、歌唱：淡谷のり子、1939年)
- 「誰か故郷を想わざる」(作曲：古賀政男、歌唱：霧島昇、1940年)
- 「青い山脈」(作曲：服部良一、歌唱：藤山一郎・奈良英枝、1949年)
- 「王将」(作曲：船村徹、歌唱：村田英雄、1961年)
- 「人間の証明のテーマ」(作曲：大野雄二、歌唱：ジョー山中、1977年)